

平成24年6月23日(土)
マービーふれあいセンター
さつきホール

『昭和47年7月災害から40年を迎えて』 — 47災害40年講演会 —

◆開催趣旨

今年、中国地方各地に大きな被害を与えた昭和47年7月災害(通称：47災害)から40年目を迎えます。

47災害では、岡山三川(吉井川・旭川・高梁川)流域各地にも大きな被害が発生し、特に高梁川水系では小田川堤防の破堤により甚大な被害を受けました。

47災害の教訓を後世に伝え、地域の皆さんの防災意識の高揚を図ることを目的とした講演会を開催いたします。

◇プログラム

時 間	内 容 ・ 講 師
13:30~13:35 (5分)	開 会
13:35~14:15 (40分)	○講 演 高梁川における「47災害」の記録とこれからの治水対策 植田 彰【国土交通省 岡山河川事務所】
14:15~14:30 (15分)	休 憩 (パネル展示)
14:30~15:40 (60分) ※途中10分休憩	○特別講演 小田川流域における水害予防組合の活動 内田 和子【岡山大学名誉教授】
15:40~16:00 (20分)	質疑応答、意見交換

※同時開催：災害パネル展(会場ロビー 受付横)

◆お願い

定められた場所以外で飲食、喫煙、または火気の使用をしないでください。
施設内は、全館禁煙です。



「急な増水の備え」
携帯版の防災情報



地域の天気
をチェック!

(社)日本気象協会



川の水位や
雨雲をチェック!

川の防災情報



川で遊ぶ前
にチェック!

水難事故マップ

<プロフィール>

○内田 和子（うちだ かずこ）

1947年、東京都生まれ。

岡山大学名誉教授

（2012年3月まで、岡山大学大学院社会文化科学研究科教授）。

地理学の立場から、全国主要河川の水害やため池の防災について、研究をしてきました。

地形と洪水との関連や水災害の減災のためのハザードマップの作成、人々の取り組みなどについて、調査を続けています。

『近代日本の水害地域社会史』古今書院、1994年、『日本のため池—防災と環境保全—』海青社、2003年。

○植田 彰（うえだ あきら）

1962年、兵庫県生まれ。

国土交通省岡山河川事務所。

高梁川、旭川、吉井川の上流域から海岸までの防災、水利用、環境保全などの調査に取り組んでいます。

これまで、石狩川、天塩川、摺上川（阿武隈川支川）、海河（中華人民共和国）、物部川、仁淀川、高時川・姉川・芹川・愛知川・日野川・野洲川・安曇川（琵琶湖に流入する河川）、大戸川、瀬田川に関わる仕事をしてきました。

「長江の大洪水と治水対策（「三十二字方針」から三峡ダム建設、「防洪法」まで）」、『FRONT No.167』財団法人リバーフロント整備センター、2004年